

2023 年度 大学行政管理学会 研究会・研究グループ活動 報告書

研究会等名称 (設置地区)	「働き方」研究会
活動目的	本研究会では、大学職員の「働き方」を研究テーマに定め、その実態を、「共通性」「多様性」の2つの観点から調査・分析する。調査・分析結果は、学会内外に広く公開することで、日本の高等教育機関におけるJUAMのプレゼンスを高める。なお、チームの主要メンバーは若手中心で構成し、中堅層は主にその支援でかかわることで、JUAM若手会員の研究活動を支援する。
参加資格・条件	研究活動に興味のある大学職員、特に若手・女性・地方在住者の参加を歓迎するが、その他の方々の参加を拒むものではない。
活動状況  ①開催ペース (毎月1回、第何曜日など)  ②主たる開催場所  ③主な活動経過  ④現在の活動状況 ・研究テーマ等	<p>■研究会設置の背景</p> <p>発起人は、10年程度のJUAMでの活動を通じて、以下のような課題意識を抱いていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究活動は大学職員のWell-beingにつながるものの、大学院など、研究活動をしっかり経験できる「場」は都市圏にのみ偏在しているのが現状である。また、大学職員の研究活動推進・支援のためには、研究活動についてまったく経験がない大学職員が、気軽に研究活動を経験したり、相談したりすることができる「場」も必要である。</li> <li>・JUAMの会員数は漸減の一途をたどっており、日本の高等教育機関におけるプレゼンスは低下し続けている。JUAM最大の資産である会員の暗黙知を活用し、本業界に貢献することを通じて、JUAMの活動活性化につなげることができると考えられる。</li> <li>・ほとんどの大学職員にとって、研究活動は「職務」に含まれていないことから、それを継続するためのマンパワーの確保やモチベーションの維持は、非常に難しい問題である。そのため、共同研究体制の構築を通じて、メンバーが仕事等で忙しい時にも助け合えたり、お互いに励まし合えたりするような関係を築きたい。</li> </ul> <p>このように、居住地域や勤務先大学・性別などを超えた、大学職員の研究活動に係る互助組織を結成することで、個人のWell-beingや、JUAMのプレゼンス向上などが達成できるものと考えられる。よって、そのような組織として、新たに「働き方」研究会を設置する。</p> <p>■研究テーマとその選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマ：大学事務職員の「働き方」をテーマとする。具体的には、大学職員の職務の内容や遂行方法、労働への意識（ワーク・モチベーション、学習動機）などを、「共通性」「多様性」という2つの観点をふまえて調査・分析する。</li> <li>・選定理由：本研究会の主な参加者となる若手大学職員が、人事異動による職務の変更などが生じた場合でも、研究会の活動期間にわたって興味・関心を持ち続けられるテーマと考えられるため。また、これまで理想論が先行してきた大学職員研究において、現実の職場において発生している事象にアプローチする本テーマは、学術的にも意義があるため。</li> </ul> <p>■開催形態等</p> <p>居住地域や年齢・性別を問わずに参加できる、以下のような活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会のSlack上で、日々情報交換や研究上・業務上の悩み相談などを行っている。</li> <li>・2ヶ月に1回程度のペースでZoomを用いたオンラインでの研究会を開催している。研究会では、「何かを誰かから教えてもらう」のではなく、「何かを一緒に作り上げる」という方針のもと、先行研究のレビューや、メンバーが現在実施中の研究にかかる報告・議論などを行っている。</li> </ul> <p>■主な活動経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・科研費若手研究「大学事務職員は「高度」な業務をどのように遂行しているのか? (課題番号: 21K13598、研究代表者: 木村弘志)」の支援を受け、2023年6月から「大学事務職員の業務遂行方法」調査を実施しており、今後、分析結果等をJUAM会員に共有していく予定である。</li> <li>・研究成果については、メンバーで協力し、JUAM総会・研究集会等での口頭発表や、各種論考(論文・研究ノート・事例研究・記事)などの形で広く公表していく。これら公表の過程では、なるべく研究の経験者だけでなく初心者もかかわり、必要な助言等を通じて、メンバー皆が成長できるような組織運営を心がける。</li> </ul>
その他	研究活動に取り組んでいる若手大学職員の様子を身近に感じるだけでも得られるものがあるかと思えますので、お気軽に世話人までご連絡ください。